

エコキャップ回収運動～回収キャップ納入と作業現場見学

森永乳業販売(株)東北支店では、サステナビリティ活動の一環で2022年8月より「エコキャップ回収運動」を行っております。1年以上経過し、まとまった量になったため、2023年11月に初めて回収業者への納入を行いました。

又、回収業者にご依頼し、納入後の仕分け作業を行っている就労支援事業所の作業現場見学を行いましたのでご報告させていただきます。

納入については仙台市宮城野区岩切にある「(株)サイコー」の事務所にお届けいたしました。専用の受付がありそこからの納入となります。すでに事務所のなかはエコキャップが入った袋で山積みになっており、毎日相当な量の納入があることがわかりました。社会全体として「エコキャップ回収」の取組み意識の高さが伝わって来ました。

尚、「(株)サイコー」サイト内の2023年11月受入実績に掲載いただいております。

(株)サイコー納入後、仕分け作業を行っている就労支援事業所である「多賀城市福祉工房 のぞみ園」に移動し、仕分け作業の見学を行いました。

キャップとキャップ以外の物、に仕分けしますが「キャップ以外の物」が多く、驚きました。乾電池、金属片、プラスチック片など様々な異物を手作業で分別する現場を見て、我々も「キャップ以外の物」を入れないようにする必要があるのだと考えさせられました。

「のぞみ園」では、エコキャップの仕分け以外にも作業をされており、その様子も見学させて頂きました。化粧箱の箱折り、オリコンの洗浄など様々な作業が行われていました。それはすべて「のぞみ園」で行われている体の不自由な方の『就労支援』となっているとの事でした

我々のエコキャップ回収は、最終的に子どもたちへのワクチン提供ですが、その途中には体の不自由な方の就労支援にも繋がっている事がわかりました。

最後に「のぞみ園さんへ慰労の品」としてピクニックをお渡しし、今回の見学を終えました。

「エコキャップ回収運動」は資源にするかゴミにするかの分かれ道でもあり、ワクチン提供でもあり、就労支援でもあります。

引き続き事業所の皆様にご理解とご協力をいただきながら、活動して参ります。



回収したエコキャップ



エコキャップ納入



エコキャップ仕分け作業



最後に「ピクニック」をお渡しいたしました。